

# すこやかガイド

## ●高齢者肺炎球菌ワクチン接種 (助成事業)のご案内

お申し込みの受付は5月1日(火)から保健センター健康館すこやかおおはるで行っています。

**対象** 70歳以上の方のうち以下のすべてに該当する方

- ・あらかじめ保健センターに申請をして、接種券の交付を受けた方
- ・過去5年以内に高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を受けていない方 ※5年以内に接種希望される方はご相談ください。
- ・接種日に大治町に住民登録がある方

**助成回数** 生涯 1 回限り

**接種可能期間** 平成24年5月1日(火)～25年3月30日(土)

**自己負担額** 接種料金と助成金額(3,000円)の差額は、自己負担となります。

接種料金は海部地区協力医療機関により異なります。

●例 接種料金-助成金額(3,000円)=自己負担額

**接種当日の持ち物** 接種券、予診票(接種医療機関で配布)、健康保険証、自己負担額

**問合せ先** 保健センター健康館すこやかおおはる ☎(444)2714

## ●平成24年度 前期歯の健康センター □から始まる、こどもの健康

**とき** 6月10日(日)午前9時30分～正午

**ところ** あま市七宝保健センター・弥富市保健センター・愛西市佐織保健センター

**対象** 乳幼児(就学前)とその保護者

**内容** ①保護者教室「お口の健康と発育」

②親子歯科健診 ③歯科相談

**料金** 無料

**問合せ先** 保健センター健康館すこやかおおはる ☎(444)2714

## ●日本脳炎予防接種 接種可能年齢の拡大

平成7年6月1日～19年4月1日生まれの方は20歳の誕生日の前々日まで次のように接種できるようになりました。

※平成7年4月2日～5月31日生まれで接種が完了していない方や接種間隔など詳細についてご不明な点はお問合せください。

※13歳以上で接種を希望される場合、母子健康手帳を持って保健センター健康館すこやかおおはるまでお越しください。また、接種間隔などご不明な点はお問合せください。

●接種状況と接種の受け方

1期を一度も接種していない方

… 11ページの間隔で1期3回と9歳以上で2期を接種

1期を1回または2回接種した方

… 1期の残りの回数と9歳以上で2期を接種

1期の接種が完了している方

… 9歳以上で2期を接種

**問合せ先** 保健センター健康館すこやかおおはる ☎(444)2714

## ●平成24年度 第3回 保健推進員主催 ウォーキング大会 ～田園コース～

**とき** 6月5日(火)午前9時～10時30分

※雨天時は中止

**集合場所** 八ツ屋防災コミュニティセンター

※お車でのお越しはご遠慮ください。

**対象** 一般成人

**定員** 30名

**参加費** 100円(平成24年度に初めて参加する方のみ)

**持ち物** タオル、帽子、飲み物、動きやすい服装

**申込期限** 6月4日(月)

※定員になり次第締め切ります。

**申込・問合せ先** 保健センター健康館すこやかおおはる ☎(444)2714

# あま市民病院 巡回バス

ご利用ください



**運行日** 月～金曜日 ※祝日および年末年始を除く

**利用方法** 地名と時間は通過目安です。バス停等はありません。所定時間5分ほど前にお待ちいただき、病院巡回バスが来たら手を上げるなどしてバスを止めてください。

## 時刻表

### ★七宝・大治コース

時刻	場所
9:05	あま市民病院発
①9:28	消防署南分署南側（進行方向東向き）
②9:30	新大治橋西信号機北側（進行方向東向き）
③9:33	JA海部東大治支店北側（進行方向西向き）
④9:35	大治町公民館西側（進行方向北向き）
⑤9:39	大治西小学校東側（進行方向北向き）
⑥9:42	西條刈屋橋信号機北側（進行方向北向き）
9:50	あま市民病院着

### ★日赤コース

時刻	場所
9:35	あま市民病院発
①9:44	大治町スポーツセンター西側（進行方向南向き）
②9:47	大治橋北西側（進行方向東向き）
③9:50	大正橋西バス停（進行方向東向き）
10:30	あま市民病院着

※帰りは11:20と13:00にあま市民病院を出発します。路線は、降車される方の状況次第で変更されます。

問合せ先 あま市民病院 ☎(444) 0050

## 歯の健康講座

海部歯科医師会

### 口は健康の源

人は、食事をすることで命を維持しています。口は、食べ物の入り口ですから命の入り口ということもできます。いつも清潔で機能的な状態にしておきたいものです。もし口の中が汚れていたり、食べたい物が食べられない状態であれば、当然その影響は体のあちこちに現れてきます。

「口腔と全身のかかわり」についてここ20年ですべてが報告検証されてきました。

例えば「糖尿病」「低体重児出産」「心内膜炎」「誤嚥性肺炎」など歯周病との関連は、マスコミにも取り上げられるようになってきましたので、皆さんもどこかで聞いたことがあるのではないのでしょうか。では、口腔ケアをしっかりとするとどうなるのでしょうか。

例えば、比較のおおざなりになりやすい入院中に口腔ケアを実施したグループは、実施しなかったグループに比べ手術後の感染予防のための抗菌剤の量が半減し、術後の経過が良く早く退院できるようになる、歯科医院などで定期的な口腔ケアを受けているグループは受けていないグループに比較して生涯医療費が安くなる（トヨタ健保組合中日新聞発表）など「口腔ケアによる医療費軽減」が報告されています。そして、8020達成者のように老後自分の歯が多く残っている人は、家族と同じ食事が楽しめる運動機能が高く一人でもどこへでも出掛けられる、いわゆる健康寿命が長くなる（首都大学東京 星旦二教授）ことが分かっています。

「口は健康の源」です。お口の健康づくりを通じて健康で豊かな生活を築いていきましょう。